

とろけるゼリーの食感！「^{べに}紅まどんな」



1. 果実の出荷時期と特長

出荷時期	12月上旬から12月下旬まで（12月中旬以降が特に食べ頃です）
特長	果肉が口の中でゼリーのようにとろけ、のどごしもなめらかです。
備考	愛媛県が育成した新品種で、愛媛新柑橘3兄弟のひとつとして愛媛県内でのみ生産されています。“紅まどんな”は全国農業協同組合連合会の登録商標で、品種名は「 ^{えひめかし} 愛媛果試第28号」です。果皮が薄くてデリケートなため、果実に雨が当たらないよう施設栽培や袋かけをして大切に栽培されます。

2. 果実の食べやすさ

果皮	①：手で簡単にむけます。 ②： <u>手でむけますが、ややむきにくいこともあります（袋がやわらかいため）。</u> ③：手でむくのが大変です。ナイフなどをご利用下さい。
袋	①： <u>薄く、食べてもほとんど気になりません。</u> ②：やや薄く、袋ごと食べることができます。 ③：厚く、口に残ります。袋をむいてお召し上がり下さい。
種	①： <u>ありません（まれに少量あることもあります）。</u> ②：あります。

3. 来歴

愛媛県果樹試験場が育成した、「^{なんこう}南香」（♀）と「^{あまくさ}天草」（♂）の交雑品種であり、2005年3月に種苗法の登録を受けました。

3世代系譜図（は父親（♂）、は母親（♀）、英字表記は外国産）

